

○東北地方の地震活動

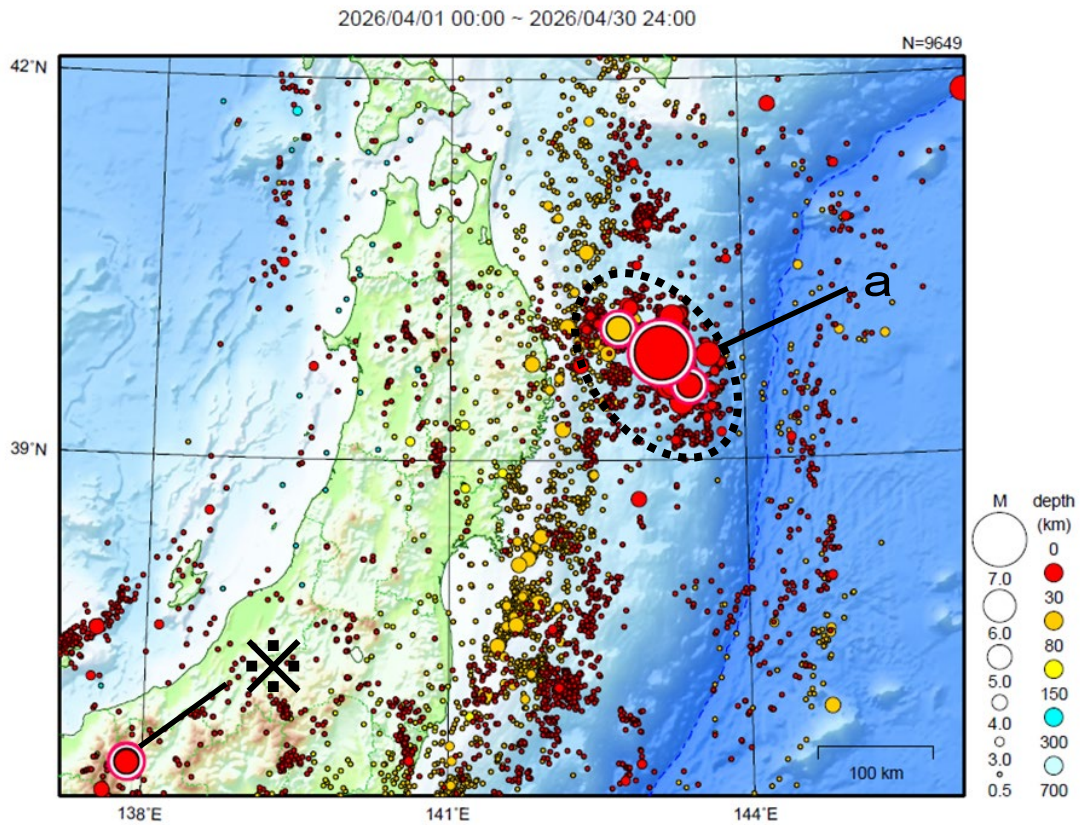


図6 東北地方の震央分布図（2026年4月1日～4月30日、M \geq 0.5）

地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOPO30及び米国国立地球物理データセンターのETOPO2v2を使用

〔概況〕

4月に東北地方で震度1以上を観測した地震は69回（3月は54回）であった。
4月中の主な活動は次のとおりである。

- a 20日16時52分に三陸沖の深さ19kmでM7.7の地震が発生し、青森県階上町で震度5強を観測したほか、東北地方を中心に北海道から近畿地方にかけて震度5弱～1を観測した。また、宮城県北部及び秋田県内陸南部で長周期地震動階級3を観測したほか、北海道から中部地方にかけて長周期地震動階級2～1を観測した。この地震により、岩手県の久慈港（注1）で79cm（注2）、北海道の浦河（注1）で39cm（注2）の津波を観測するなど、北海道から東北地方にかけての太平洋沿岸で津波を観測した。この地震の震央付近では20日から30日までに震度1以上を観測した地震が38回（震度5強：1回、震度3：3回、震度2：7回、震度1：27回）発生した。この地震により、負傷者10人の被害が生じた（4月28日17時00分現在、総務省消防庁による）。

東北地方では岩手県の久慈港（注1）で79cm（注2）、宮古で34cm（注2）、青森県の八戸港（注1）で27cm（注2）、宮城県の仙台港（注1）で25cm（注2）、石巻市鮎川で23cm

（注2）などの津波を観測した。また、東北地方では負傷者8人の被害が生じた（p. 53～94参照）

※ 関東・中部地方の地震活動を参照（p. 6、14参照）。

（注1）国土交通省港湾局の観測施設
（注2）観測値は後日の精査により変更される場合がある。